

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2025年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科					
科目名称	子どもの食と栄養					授業形態		講義		
科目コード	750117	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	温谷 恭幸								ICT活 用	○
授業概要	本授業では、乳幼児の健全な発育・発達を支える栄養と食生活の重要性について理解を深めることを目的とする。乳幼児期における適切な栄養摂取は、身体的成長のみならず、認知・情緒の発達にも大きな影響を及ぼす。本講義では、子どもの成長過程に応じた栄養の基礎知識を習得し、食生活の現状と課題を踏まえながら、発育・発達段階ごとの食事の特徴や問題点について考察する。さらに、食育の意義を理解し、保育の現場において食を通じた支援を実践するための方法を学ぶ。加えて、食物アレルギーや疾病など、特別な配慮を要する子どもへの適切な対応についても検討し、保育者としての専門的視点を養うことを目指す。									
関連する科目										
授業の進め方 と方法	本授業は対面方式で実施し、教科書およびPowerPointによるスライド資料を中心に講義を進める。さらに、重要な内容を補足するためのプリントを適宜配布およびICTを活用したWEB小テストを活用し、理解を助ける。また、授業内では随時、学んだ内容や関連事項について学生と対話やグループワークを交えながら進めることで、知識の定着を図り、主体的な学びへとつなげていく。									
授業計画【第1回】	第1回 栄養に関する基本的知識 ・子どもの健康と食生活の意義、心身の健康との関係、現状と課題 ・栄養の基本概念と食事摂取基準について									
授業計画【第2回】	第2回 栄養に関する基本的知識 ・栄養素の種類と食品分類に関する基本的知識(炭水化物・糖質、たんぱく質)									
授業計画【第3回】	第3回 栄養に関する基本的知識 ・栄養素の種類と食品分類に関する基本的知識(脂肪・脂質、ビタミン)									
授業計画【第4回】	第4回 栄養に関する基本的知識 ・栄養素の種類と食品分類に関する基本的知識(ミネラル、水分)									
授業計画【第5回】	第5回 栄養に関する基本的知識 ・栄養素の消化、吸収、代謝に関する基本的知識(三大栄養素)									
授業計画【第6回】	第6回 栄養に関する基本的知識 ・栄養素の消化、吸収、代謝に関する基本的知識(ビタミン、ミネラル)									
授業計画【第7回】	第7回 栄養に関する基本的知識 ・栄養素の消化、吸収、代謝に関する基本的知識(水分)									
授業計画【第8回】	第8回 栄養に関する基本的知識 ・料理の構成と献立作成									
授業計画【第9回】	第9回 子どもの発育・発達と食生活支援 ・子どもの発育・発達の基本と必要な栄養素									
授業計画【第10回】	第10回 子どもの発育・発達と食生活支援 ・胎児期（妊娠期）の食生活と必要な栄養素									

授業計画 【第11回】	第11回 子どもの発育・発達と食生活支援 ・乳児期の授乳・離乳の意義と食生活に必要な栄養素
授業計画 【第12回】	第12回 子どもの発育・発達と食生活支援 ・幼児期の心身発達と食生活に必要な栄養素
授業計画 【第13回】	第13回 子どもの発育・発達と食生活支援 ・学童期の心身発達と食生活に必要な栄養素
授業計画 【第14回】	第14回 子どもの発育・発達と食生活支援 ・ライフステージ別の発達に必要な栄養素と食事摂取基準 ・家庭(保護者)や児童福祉施設における食環境や食事に関連する食支援
授業計画 【第15回】	第15回 子どもの発育・発達と食生活支援 ・疾病、食物アレルギー、障害のある子どもへの食支援
授業の到達目標	①栄養の基礎知識の習得と、子どもの健全な成長に必要な課題の抽出。【知識・理解】 ②発達段階に応じた栄養摂取と食育の意義の理解、および食生活改善のための協働。【汎用的技能・コミュニケーション・スキル】 ③食生活の問題や特別な配慮が必要な子どもへの対応の習得と、保育現場での実践。【態度・志向性・生涯学習力】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	〈予習〉 指定した教科書を事前に熟読し、次の講義内容を把握しておくこと。(30分～1時間)
授業時間外学習【復習】	〈復習〉 講義期間中に小テストを原則2回実施するので、その内容を確認、復習しておくこと。(約1時間)
課題に対する フィードバック	2回的小テストは評価後、返却及び解説。 定期試験は試験後に模範解答と共に解説。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 1) 小テスト (20点) 2) 授業内のプレゼンテーション(10点) 3) 定期試験 (70点)
テキスト	最新 子どもの食と栄養―食生活の基礎を築くために―(第9版)
参考書	基礎栄養学 第5版(栄養科学シリーズNEXT)【講談社】 系統看護学講座-専門基礎分野 栄養学【医学書院】 臨床生化学 第5版(ナースング・グラフィカ-人体の構造と機能(2))【メディカ出版】 臨床生化学 第6版(ナースング・グラフィカ)【メディカ出版】
備考	